



花まつりのおつとめ

5月8日に花まつりの行事を行いました。花まつりはお釈迦様のお誕生を祝うまつりです。朝一番に子どもたちが持ち寄った花で花御堂（はなみどう）を飾りました。花御堂の中央には、お釈迦様の像が置かれています。遊戯室でのおつとめでは、献花をしたり、おつとめの歌を歌ったり、み仏様に手を合わせたりしました。本学からの導師の先生にお釈迦様の教えについてお話をしていただきました。「お釈迦様は、ありがたいの意味を私たちに教えてくれています。お友だちとなかよくできることにもありがたいの気持ちを持ちましょう。」というお話で、すべてのことに感謝して生きることの大切さを教えていただきました。花まつりでは、甘茶をお釈迦様にささげることから、子どもたちには甘茶のティパックを持ち帰らせました。こうした花まつり等の仏教行事は、本園の特色の一つです。



身体測定で健康チェック

4月23日から25日にかけて身体測定を行いました。本園では毎月身長や体重を測り、子どもたちの健康をチェックしています。また、この身体測定は子どもたちの健康の基礎データになります。幼児期は体が大きく成長する時期です。そうした時期に身長があまり伸びていない、体重が減っているなどの場合は、何かしらの体調の不良が考えられます。また、担任と養護教諭が一緒になって身体測定を行うことで、子どもたち一人一人の健康についての情報を共有することにもなります。お子様の健康について何かご心配なことがございましたら、担任や養護教諭にお声かけください。



さまざまな園庭での遊び

本園では遊びを中心とした保育を行っています。晴れの日の園庭では、さまざまな遊びが展開されています。砂場での遊び、三輪車遊び、遊具を使った遊び、どろ団子づくり、虫さがしなどさまざまです。私も園庭に出て、子どもたちが遊んでいる様子を見ていますが、面白いことを発見します。砂場で遊んでいるお友だちは、「園長先生、これはかしわもちです。」と桜の葉で包んだお団子をくれました。ダンゴムシや幼虫を探しているお友だちは、片手に虫の図鑑を持っていました。みんなそれぞれにこだわりを持って遊んでいることに感心してしまいます。子どもたちは、遊ぶことで創造力や集中力を高めているんだなあと思いました。



母の日のプレゼント

5月11日は母の日です。日頃の感謝の気持ちを表そうと、子どもたちはお母さんの似顔絵を描きました。優しいお母さん、きれいなお母さん、楽しいお母さんなどお母さん像はさまざまです。子どもたちは、お母さんの顔や特徴を思い浮かべながら、髪や目、鼻や口を描いていました。年少さんや年中さんはクレパスで、年長さんは絵の具も使ってお母さんの顔を描き上げました。みんなそれぞれに心を込めてお母さんの絵を描いていました。子どもたちの作品を見ていると「お母さん、大好き」という気持ちが伝わってきます。さて、子どもたちはどんな顔をして、どんな言葉を込めて、このプレゼントを渡すのでしょうか。心温まる母の日の一コマが目に見えるようです。

